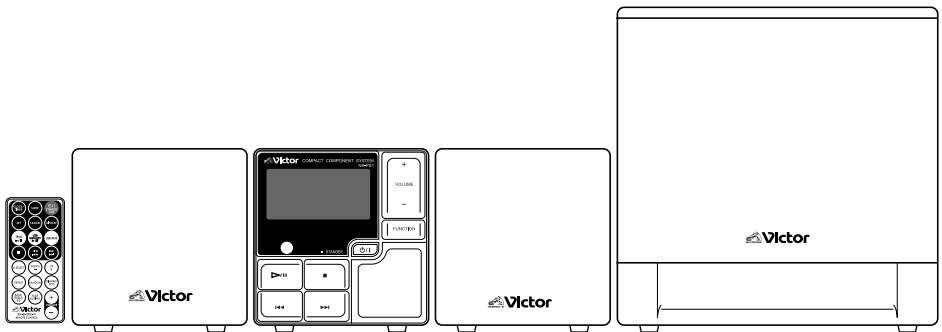
コンパクトコンポーネントシステム

型名 NX-PS1-W

MP3/WMA PLAYBACK

― お買い上げありがとうございます ―

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に2〜5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

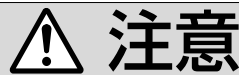
LVT1633-013A

もくじ

安全上のご注意 －はじめにお読みください－

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
• この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	• この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

安全上のご注意－はじめにお読みください－

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水場での使用禁止　接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示　電源プラグを抜く

警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）
  すぐに電源を「**切**」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

一般的注意

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

本機は電源プラグの抜き差しで、主電源が「**入**」／「**切**」します。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

本機の中に物を入れない。

通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

安全上のご注意(つづき)ーはじめにお読みくださいー

⚠ 警告

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

置き場所に注意する。

次のような所に設置すると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや、熱器具の近くなど高温になるところ
- 窓際など水滴の発生しやすいところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- 不安定なところ
- 振動の激しいところ

寒い所から急に暖かい部屋へ移動したときは、1〜2時間待ってから電源を入れてください。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「**切**」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「**切**」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

指定の電池以外は使用しない。

電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。

間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。

他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

電池をショートさせたり、分解や過熱をしたり、火や水の中に入れない。

電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

欧州連合のリサイクルマークです。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- ・湿気やほこりの多い所
- ・バランスの悪い不安定な所
- ・熱器具の近く
- ・OA機器や蛍光灯のすぐそば
- ・風通しの悪い狭い所
- ・直射日光の当たる所
- ・極端に寒い所
- ・振動の激しい所
- ・テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- ・磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

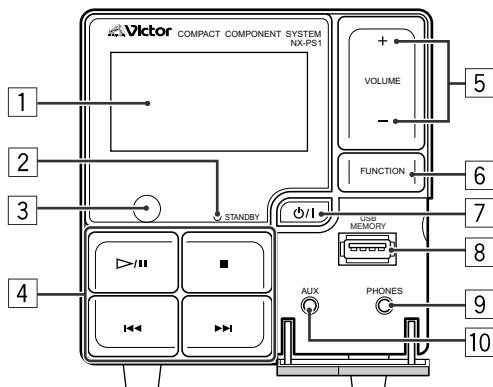
ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
「**安全上のご注意**」に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名称 −（）内のページに説明があります−

本体

前面パネルを開けたところ

前面パネルの開け方

・点線で囲んだ部分に指をかけて前に倒します。

1 **表示窓**

2 **STANDBY（待機）ランプ**
電源「**切**」時に赤色に点灯します。

3 **リモコン受光部**

4 **▷/❚❚（再生/一時停止）ボタン（15、16）**
■（停止）ボタン（16）
⏮/⏭（早戻し/早送り）ボタン（10、13、15、16）

5 **VOLUME（音量）＋/−ボタン（10、11）**

6 **FUNCTION（音源選択）ボタン**
押すごとにソース（音源）が切り換わります。

7 **⏻/I（電源）ボタン（10、13）**

8 **USB MEMORY端子（16）**

9 **PHONES（ヘッドホン）端子（12）**

10 **AUX（外部入力）端子（19）**

表示窓

1 **再生モード表示**
各再生モード使用時に点灯します。
（ソース（音源）が「**USB MEMORY**」のときのみご使用になれます）
- **RND（ランダム）表示（17）**
- **リピート表示（17）**

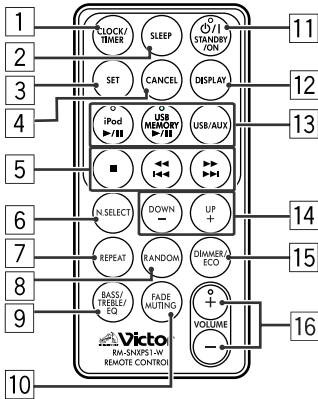
2 **イコライザ(EQ)モード表示（11）**
EQモード使用時に表示されます。

3 **USB接続表示（16）**
ソース（音源）が「**USB MEMORY**」のとき、USB機器を接続していると点灯します。

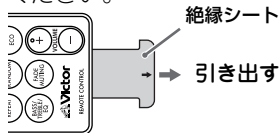
4 **タイマー表示**
タイマーが設定されているときに点灯します。
- **SLEEP（おやすみ）タイマー表示（12）**
- **（デイリー）タイマー表示（13）**

5 **情報表示部（12、15、16、19）**

各部の名称（つづき）

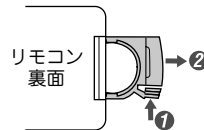
リモコン

1 CLOCK/TIMER（クロック/タイマー）ボタン（10、13）
2 SLEEP（スリープ）（おやすみ）ボタン（12）
3 SET（セット）ボタン（10、13、16、19）
4 CANCEL（キャンセル）ボタン（13）
5 ■（停止）ボタン（16）
 ⏮/◀◀（早戻し）ボタン（10、13、15、16）
 ⏭/▶▶（早送り）ボタン（10、13、15、16）
6 N. SELECT（ナンバー・セレクト）ボタン（16）
7 REPEAT（リピート）ボタン（17）
8 RANDOM（ランダム）ボタン（17）
9 BASS/TREBLE/EQ（バス/トレブル/イコライザー）ボタン（11）
10 FADE MUTING（フェード ミューティング）ボタン（11）
11 ⏻/I STANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタン（10、13）
12 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン（12）
13 ソース（音源）ボタン
 ・iPod ▶/❚❚ ボタン（15）
 ・USB MEMORY ▶/❚❚ ボタン（16）
 ・USB/AUXボタン（18、19）
14 UP＋/DOWN－（アップ/ダウン）ボタン（16）
15 DIMMER/ECO（ディマー/エコ）ボタン（12）
16 VOLUME（ボリューム）＋/－ボタン（10、11）

リモコンに電池を入れる

・初めてリモコンを使用するときは、リモコンの絶縁シートを取り除いてご使用ください。

ご注意

・出荷時のリモコンに入っている電池は動作確認用です。早めに新しい電池（CR2025:市販品）と交換してください。
・操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。
・使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「**所在自治体の指示**」に従って廃棄してください。

電池の入れかた

1 つまみを右に押しながら（❶）、電池ホルダーを引き出す（❷）

2 電池（CR2025）を入れて戻す

接続　ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

家庭用コンセント
(AC100V、50Hz/60Hz)へ

AC電源コード
(付属品)

USB AUDIO端子

iPodケーブル端子

ACアダプター(AA-R2402)
(付属品)

本体

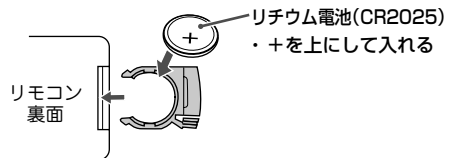
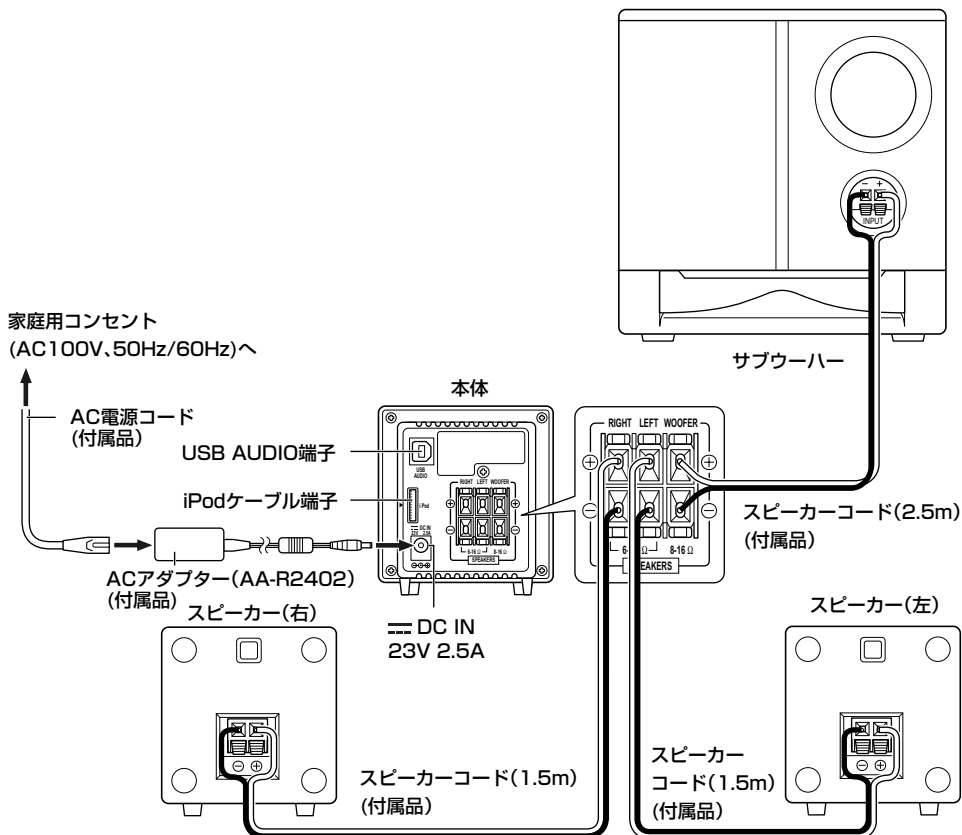
⎓ DC IN
23V 2.5A

RIGHT LEFT WOOFER

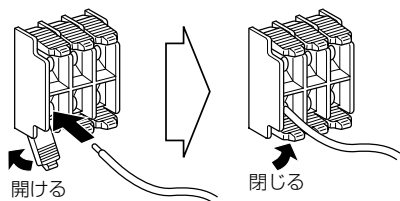
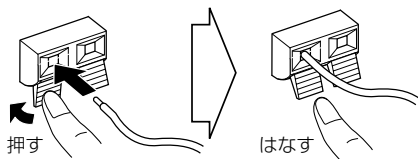
6-16Ω 8-16Ω

SPEAKERS

サブウーハー

INPUT

スピーカーコード(2.5m)
(付属品)

スピーカー(右)

スピーカー(左)

スピーカーコード(1.5m)
(付属品)

スピーカー
コード(1.5m)
(付属品)

ご注意

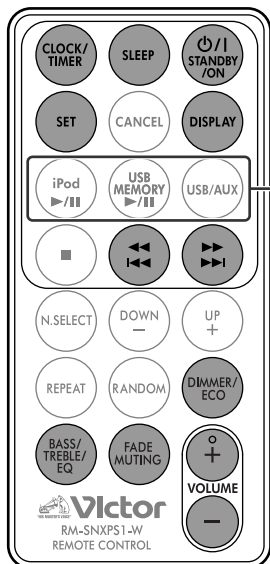
・スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
・他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。
・故障や火災の原因になるため
　－ 付属のACアダプターとAC電源コード以外は、本機には絶対に使用しないでください。
　－ 付属のACアダプターとAC電源コードを他の機器で絶対に使用しないでください。

基本操作

本書の見かた

おもにリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じ名前やマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

電源を入れる/切る

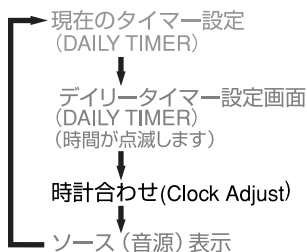
 （または本体の ⏻/I ）を押す

・電源が「**切**」の状態でリモコンのソース（音源）ボタンを押したときも電源が入ります。

時計を合わせる

電源が「**入**」「**切**」どちらの状態でも操作できます。

1 CLOCK/TIMER を押す

表示窓に「**Clock Adjust**」が表示され、時間が点滅します。

すでに時計を合わせているときは、押すごとに以下のように切り換わります。

2 ◄◄/|◄◄ または ►►/►►| を押して時計を合わせ、SET を押して決定する

1 **「時」を合わせます。決定すると「分」が点滅します**

2 **「分」を合わせます。決定すると時計設定が完了します**

- 1つ前の手順に戻るには を押します。

ご注意

電源コードを抜いたり停電があったときは、時計は「**0:00**」に戻ります。時計を設定し直してください。

音量を調節する

 を押す

・VOLUME MIN、VOLUME 01～29、VOLUME MAXの範囲で調節できます。

一時的に消音する

を押す

音量が最小になり、「**MUTING**」が点滅表示します。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOLUMEボタンを押すと消音は解除され、音量の調節ができます。

音質を調節する

1 BASS/TREBLE/EQ **をくり返し押して「BASS」(低音の調節)または「TREBLE」(高音の調節)を表示させる**

押すごとに以下のように切り換わります。

* EQモードを使用しているときは、「**FLAT**」の代わりに現在選択しているモードが表示されます。

2 表示窓に「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に、

を押して音質を調節する

・–5〜＋5の範囲で調節できます。
・数秒後に自動で元のソース(音源)表示に戻ります。

ご注意

音質(「**BASS**」または「**TREBLE**」)を調節すると、EQモードは解除され、表示が消えます。

EQ(イコライザー)モードを選ぶ

1 BASS/TREBLE/EQ **をくり返し押して現在のEQモードを表示する**

押すごとに以下のように切り換わります。

* EQモードを使用しているときは、「**FLAT**」の代わりに現在選択しているモードが表示されます。

2

を押してEQモードを選ぶ

次の5つのモードから選べます。

ROCK	ロック
POP	ポップス
JAZZ	ジャズ
CLAS	クラシック
FLAT	フラットな音で出力されます。 (お買い上げ時の状態)

・数秒後に自動で元のソース(音源)表示に戻ります。
・表示窓の上部に、現在のEQモードが表示されます。

ご注意

EQモードを選ぶと、音質(「**BASS**」または「**TREBLE**」)の調節は解除されます。

基本操作(つづき)

ヘッドホンで聞く

ミニプラグ付きヘッドホン(別売り)を前面パネルのPHONES端子に接続します。
プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

ご注意

ヘッドホンを着けるときや、ヘッドホンのプラグを抜き差しするときは、必ず音量を最小にしてから行なってください。

表示を切り換える

表示窓の情報表示を切り換えることができます。

 を押す

押すごとに、表示窓の情報が切り換わります。

ソース(音源)がiPodまたはUSB AUDIOのとき:

接続状態 ⟷ 時計表示

ソース(音源)がUSB MEMORYのとき:

再生中のファイル情報 ⟷ 時計表示

ソース(音源)がAUXのとき:

表示なし ⟷ 時計表示

表示窓の明るさを変える

 を押す

表示窓に「**DIMMER ON**」が表示され、表示窓が暗くなります。
もう一度押すと「**DIMMER OFF**」が表示され、ディマーを解除することができます。

電源「切」時の消費電力を抑える(エコモード)

エコモードを「**ON**」にすることで、電源「**切**」時の消費電力を抑えることができます。

電源「切」の状態で **を押す**

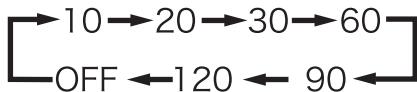
「**ECO ON**」が表示された後、時計表示が消えます。
もう一度押すと「**ECO OFF**」が表示され、エコモードが解除されれます。
・電源を入れるとエコモードは解除されます。

おやすみタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

 を押す

押すごとに、時間(単位:分)が次のように切り換わります。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → OFF → 10

・おやすみタイマーを使用中は、表示窓の「**SLEEP**」表示が点灯します。

設定した時間を変更するには

 をくり返し押して時間を選び直します。

設定した時間(残り時間)を確認するには

おやすみタイマーが設定された状態で、
 を1回押します。

デイリータイマーを使う

設定した時刻になると、自動的に電源が「**入**」になり、選択したソース(音源)の再生が始まります。その後、設定した時刻になると自動的に「**切**」になります。

- デイリータイマーを使う前に、時計を合わせてください(➡ 10ページ)。
- デイリータイマーを使う前に、あらかじめ再生したいソース(音源)を本機に接続しておいてください(➡ 14〜19ページ)。

1 CLOCK/TIMER をくり返し押して、デイリータイマーの設定画面を表示させる

押すごとに以下のように切り換わります。

現在のタイマー設定
(DAILY TIMER)
↓
デイリータイマー設定画面
(DAILY TIMER)
(時間が点滅します)
↓
時計合わせ(Clock Adjust)
↓
ソース(音源)表示

2 ◀◀/|◀◀ または ▶▶/▶▶| を押して設定を変更し、SET を押して決定する

1 開始時刻(「DAILY TIMER ON」)を設定する

2 終了時刻(「DAILY TIMER OFF」)を設定する

3 再生するソース(音源)を設定する

iPod、USB MEMORY、AUXから選びます。ソース(音源)で「**USB MEMORY**」を選んだときは、再生したいグループ(001〜500、--)と曲番号(001〜999、--)も設定します。

- 「--」を選ぶと、グループ1、曲番号1が選択されます。

4 音量を設定する

「**VOLUME MIN**」〜「**VOLUME MAX**」の範囲で設定します。

- CANCEL を押すと、一つ前の手順に戻ります。
- タイマー設定を中止するには

CLOCK/TIMER を押します。

設定が終わると「**SET OK**」が表示され、タイマー設定内容が表示されます。
表示窓に「◷」表示が点灯します。

3 電源を切る

デイリータイマーは、電源「**切**」のときに動作します。

開始時刻になると電源が自動的に「**入**」になり、選択したソース(音源)の再生が始まり「◷」表示が点滅します。

- 開始時刻と終了時刻を同じ時刻には設定できません。

デイリータイマーを解除するには

1 CLOCK/TIMER を押して、現在のタイマー設定を表示させる

2 CANCEL を押す

デイリータイマーが取り消され、「◷」表示が消えます。

同じ内容で再設定するには

現在のタイマー設定を表示している状態で SET を押します。

デイリータイマーが再設定され、「◷」が表示されます。

iPodの音楽を聴く

iPodを接続する

本機に接続可能なiPodの種類

本機は以下の種類のiPodに対応しています。

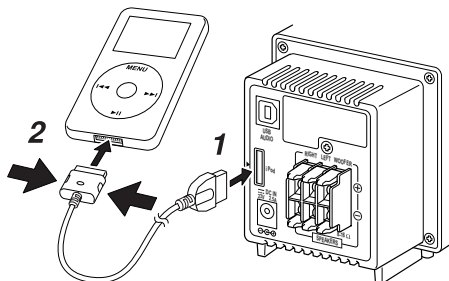
iPod nano 1GB/2GB/4GB
iPod nano(第2世代) 2GB/4GB/8GB
iPod mini
iPod(第4世代) 20GB/40GB
iPod photo(第4世代) 20GB/30GB/40GB/60GB
iPod video(第5世代) 30GB/60GB/80GB

iPodのソフトウェアのバージョンが古いときは正常に動作しない場合があります。そのようなときは、iPodのソフトウェアのバージョンアップを行なってください。

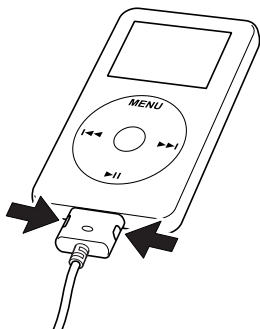
- iPodのアップデートについては、Apple Computer, Inc.のウェブサイト<http://www.apple.com/jp/>をご覧ください。

iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

本機とiPodをつなぐ

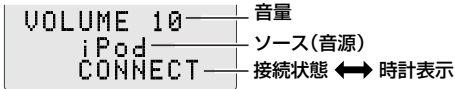
本機背面のiPodケーブル端子とiPodを、付属のiPod接続ケーブルでつなぎます。

- 接続するときは、本機の電源が「**切**」になっていることを確かめてください。
- コネクターの矢印とiPod端子の矢印の向きを合わせて接続します。
- iPodにiPodケーブルを接続するときは、コネクターの横にあるボタンを押しながらiPodに差し込んでください。

付属のiPodスタンドに置いてご使用いただけます。

iPodを取り外す

- iPodの電源を切るときは本機の電源が「**切**」になっていることを確かめてください。
- iPodを外すときは、コネクターの横のボタンを押して引いてください。

iPodを操作する

ソース(音源)がiPodのときの画面表示

表示	
VOLUME 10	音量
iPod	ソース(音源)
CONNECT	接続状態 ⟷ 時計表示

基本操作

再生する

 を押します。

ソース(音源)が「**iPod**」に切り換わり、再生が始まります。

一時停止する

再生中に (iPod ►/II) を押します。

もう一度押すと、再生を開始します。
ボタンを押し続けると、iPodはスリープ状態になります。

頭出し(スキップ)/早送りをする

 を押します。

次の曲の頭から再生が始まります。
ボタンを押し続けると、早送りになります。

頭出し(スキップ)/早戻しをする

 を押します。

再生中の曲の頭に戻って再生が始まります。くり返し押すと、前の曲に戻ります。
ボタンを押し続けると、早戻しになります。

iPodを使用時のご注意

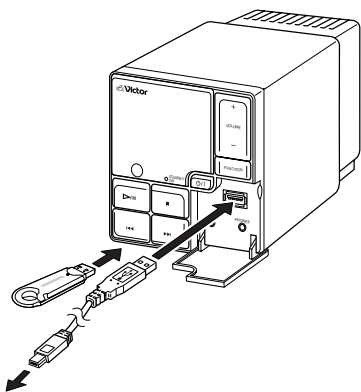
- 本機からiPodにデータを送ることはできません。
- 本機の電源が「**入**」または「**切**」でエコモードがオフのときには、iPodは自動的に充電されます。充電時間についてはiPodの取扱説明書をお読みください。
- iPodとUSBマスストレージ規格対応機器を同時に接続すると本機に過剰な負荷がかかります。同時には接続しないでください。
- iPodのイコライザーを使用時に、録音レベルが高い音を再生すると音がひずむことがあります。iPodのイコライザーは使用しないでください。iPodの操作についてはiPodの取扱説明書をご覧ください。
- iPod接続ケーブルをiPodに接続するときは正しい方向に奥まで差し込んでください。
- 本機を移動するときはiPodを本機から外しておいてください。落としたりして、本体のコネクター部分が故障する原因になります。
- iPodを使用しないときはiPod接続ケーブルを外しておいてください。
- コネクターの端子部分に直接さわったり、物を当てたりしなでください。破損の原因になります。

本機の故障または、不具合などにより再生において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。
大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。

USB機器の音楽を聴く

USB機器を接続する

本機は、USBマスストレージ規格対応のUSB機器(デジタルオーディオプレーヤーやフラッシュメモリなど)を接続することができます。

本機前面パネルのUSB MEMORY端子に、USBマスストレージ規格対応のUSB機器を接続します。

デジタルオーディオプレーヤーなど

- 接続したり外したりするときは、必ず音量を最小にしてからにしてください。
- USB接続機器を外すときは、必ず再生が停止しているか確認してから取り外してください。

USB機器を操作する

ソース(音源)がUSB MEMORYのときの画面表示

```
VOL 10  00:05
 ▶ G012 T123
GROUP
```

音量
経過時間
曲番号
グループ番号
ファイル情報 ⟷ 時計表示

基本操作

再生する

 を押します。

ソース(音源)が「**USB MEMORY**」に切り換わり、再生が始まります。

一時停止する

再生中に [USB MEMORY ►/II] を押します。

もう一度押すと、再生を開始します。

停止する

 を押します。

頭出し(スキップ)/早送りをする

 を押します。

次の曲の頭から再生が始まります。
ボタンを押し続けると、早送りになります。

頭出し(スキップ)/早戻しをする

 を押します。

再生中の曲の頭に戻って再生が始まります。くり返し押すと、前の曲に戻ります。
ボタンを押し続けると、早戻しになります。

曲番号を指定して再生する

1 [N.SELECT] **を押す**

2 [DOWN −] **または** [UP +] **を押してグループ番号を選び、**[SET] **を押す**

3 [DOWN −] **または** [UP +] **を押して曲番号を選び、** **を押す**

4 [USB MEMORY ►/II] **を押す**

選んだ曲番号から再生が始まります。

色々な再生モードを使う

くり返し再生する(リピート再生)

REPEAT をくり返し押す

押すごとに、再生モードが次のように切り換わります。

⮐1	現在の曲をくり返し再生
⮐ALL	すべての曲をくり返し再生
⮐GR	現在のグループの曲をくり返し再生
(表示なし)	リピート再生を解除

ランダムに再生する

RANDOM を押す

「**RND**」表示が点灯し、すべての曲を無作為(ランダム)な順序で再生します。
すべての曲の再生が終わると、ランダム再生は終了します。

- ランダム再生を解除するには、もう一度ボタンを押します。「**RND**」表示が消えて、ランダム再生が解除されます。
- ランダム再生中にリピート再生を使うこともできます。

USB機器を使用時のご注意

- 本機からUSB接続した機器にデータを送ることはできません。
- USB機器を接続したり外したりするときは、必ず音量を最小にしてからにしてください。
- USB機器は、本機に直接接続してください、ハブを使った接続はしないでください。
- 本機の電源が「**入**」または「**切**」でエコモードがオフのとき、接続しているUSB機器に電源が供給されます。
- USB MEMORY端子にiPodを接続しないでください。
- 本機はDRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
- 本機前面のUSB MEMORY端子にパソコンは接続しないでください。対応していません。
  パソコンを接続するときは、背面のUSB AUDIO端子に接続してください(➡18ページ)

本機の故障または、不具合などにより再生において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。
大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。

再生できるファイルについて

- 本機はMP3ファイル(拡張子<.mp3>)とWMAファイル(拡張子<.wma>)を再生可能です。
- USB機器の特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。その場合は、再生できないファイルはスキップされます。
- 使用している文字や記号によっては、ファイル情報が正しく表示できない場合があります(日本語には対応していません)。
  また、表示できる文字数はファイル/グループ名で最大32文字(半角英数字、拡張子を含まず)、ID3タグで最大30文字(半角英数字)です。
- MP3ファイルはサンプリング周波数44.1kHz/ビットレート128kbps、WMAファイルはサンプリング周波数44.1kHz/ビットレート96kbpsのものを推奨します。
- ファイルの再生順序は、パソコンなどで表示する順序と異なることがあります。
- 再生できるファイルを含まないフォルダは無視されます。

パソコンなどの音楽を聞く

パソコンを接続する

対応OS

本機は以下のOSを搭載したパソコンと接続することができます。

Windows® 98SE
Windows® Me
Windows® 2000
Windows® XP

Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000、Windows® XPはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ドライバをインストールする

初めてパソコンと接続するときは、以下の手順に従ってパソコンにドライバをインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れる。

既に電源が「**入**」のときは、あらかじめすべてのアプリケーションを終了してください。

2 (USB/AUX) をくり返し押して「USB AUDIO」を選ぶ

押すごとに次のようにソース(音源)が切り換わります。

USB AUDIO ⟷ AUX

3 本機背面のUSB AUDIO端子とパソコンをUSBケーブルで接続する

接続には、市販のUSBケーブルをお使いください。

4 USBドライバが自動的にインストールされます。

パソコンの音楽を再生する

1 本機背面のUSB AUDIO端子とパソコンをUSBケーブルで接続する

2 (USB/AUX) をくり返し押して「USB AUDIO」を選ぶ

押すごとに次のようにソース(音源)が切り換わります。

USB AUDIO ⟷ AUX

3 パソコンで再生を始める

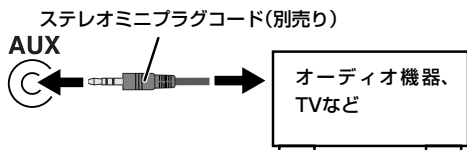
再生の操作方法は、お使いのパソコンのプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

パソコンと接続するときのご注意

- 本機からパソコンにデータを送ることはできません。
- パソコンが本機を認識してからしばらくの間、またドライバをインストールしている間はUSBケーブルを外さないでください。
- ケーブルはフルスピードのUSBケーブル(バージョン1.1)をお使いください。また、長さは2m以下のケーブルをお使いください。
- パソコンが本機を認識しなかったときは、USBケーブルを外して、もう一度つなぎ直してください。それでも認識しない場合は、ウィンドウズを再起動してみてください。
- インストールされたドライバは、本機とパソコンを接続したときのみ認識されます。
- パソコンの設定や状態によっては、音声が途切れたり、正しく再生されないことがあります。
- 接続したり外したりするときは、必ず音量を最小にしてからにしてください。

他の機器の音楽を聞く

他の機器を接続する

前面パネルのAUX端子に、ステレオミニプラグコード（別売り）を使って接続します。

・接続したり外したりするときは、必ず音量を最小にしてからにしてください。

接続した機器の音楽を聞く

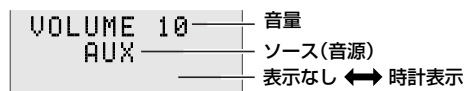
1 USB/AUX をくり返し押して「AUX」を選ぶ

押すごとに次のようにソース（音源）が切り換わります。

USB AUDIO ⟷ AUX

2 接続した機器で再生を始める

接続した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ソース（音源）がAUXのときの画面表示

AUX端子の入力レベルを調節する

本機のAUX端子に接続した機器からの音声入力レベルを、本機で調節することができます。

• ソース（音源）が「**AUX**」のときのみ調節できます

入力レベルが表示されるまで

を押し続ける

押し続けるごとに、次のように切り換わります。

LEVEL1 ⟷ LEVEL 2

LEVEL1	LEVEL 2では入力レベルが大きすぎるときに選びます。
LEVEL 2	通常はこちらでお使いください。（お買い上げ時の設定）

故障かな？と思う前に －おや？故障かな？と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください－

症状	原因	処置
電源が入らない。	電源プラグがきちんと差し込まれていない。	電源プラグを差し込み直す。
設定が終わる前に勝手に終了する。	操作には時間制限があるものがあります。	もう一度操作し直す。
リモコンでの操作ができない。	電池が消耗している。	電池を入れ換える。
スピーカーから音が聞こえない。	接続を間違えている。	「接続」のページを見て正しくつなぎ直す。
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。
USB接続したパソコンで再生すると雑音が入る。	パソコンで他のアプリケーションが動いている。	他のアプリケーションを終了する。
	USBハブ経由で接続している。	パソコンと本機を直接ケーブルでつなぐ。
画面に「CONNECT」と表示されているのにiPodが再生できない。	iPodのバッテリーが消耗している。	iPodを充電する。
タイマーが働かない。	時計を合わせていない。	時計を合わせる。
	電源が「入」になっている。	電源を切る。

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは…**

本機はマイコンの働きで多くの動作を行なっております。万一、雷や静電気等による動作の異常が発生したときやボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。
そのあと、時計を合わせ直してください。

主な仕様

・本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

■ 本体(CA-NXPS1-W)

アンプ部

実用最大出力
メインスピーカー:
10 W × 2 ch(THD10%/6Ω,1 kHz)
サブウーハー:
30 W(THD10%/8Ω,100 Hz)

入力端子

AUX×1: 500 mV/47 kΩ:LEVEL1
125 mV/47 kΩ:LEVEL2
USB部
USB MEMORY端子×1:
USB Ver. 1.1
USB AUDIO端子×1:
USB Ver. 1.1
形式: USBマスストレージクラス規格
ファイルシステム: FAT16/FAT32(NTFSには対応していません)
音声圧縮再生方式: MP3、WMA
USB出力電源: 5 V/500 mA
iPod端子×1
iPod出力電源: 5 V/500 mA

出力端子

メインスピーカー: 10 W/6 Ω
適合インピーダンス:
6 Ω〜16 Ω
サブウーハー: 30 W/8 Ω
適合インピーダンス:
8 Ω〜16 Ω
ヘッドホン(PHONES×1):
15 mW/32 Ω
適合インピーダンス:
32 Ω〜1 kΩ

タイマー部

タイマー形式: 1プログラム動作(デイリータイマー)
おやすみタイマー: 10、20、30、60、90、120分
時計表示: 24時間表示

電源: DC IN 23 V ⎓ 2500 mA
消費電力(ACアダプター接続時)
電源「入」時: 19 W
電源「待機」時: 12 W
電源「待機(エコモードON)」時: 1 W
最大外形寸法幅:
90 mm × 高さ 96 mm × 奥行137 mm
質量: 約 0.5 kg

■ スピーカー

メインスピーカー(SP-NXPS1F-W):1本当たり

形式: フルレンジバスレフ型、防磁形(JEITA)
使用スピーカー: 8 cmコーンスピーカー × 1
最大入力: 10 W(JIS)
定格インピーダンス: 6 Ω
再生周波数帯域: 150 Hz〜20 kHz
出力音圧レベル: 83 dB/W·m
最大外形寸法:
幅 90 mm × 高さ 96 mm × 奥行 90 mm
質量: 約 0.63 kg(1本)

サブウーハー(SP-NXPS1W-W):

形式: バスレフ型、防磁形(JEITA)
使用スピーカー: 17 cmコーンスピーカー × 1
最大入力: 30 W(JIS)
定格インピーダンス: 8 Ω
再生周波数帯域: 35 Hz〜150 Hz
出力音圧レベル: 80 dB/W·m
最大外形寸法幅:
221 mm × 高さ 221 mm × 奥行 222 mm
質量: 約 3.5 kg

■ ACアダプター(AA-R2402)

電源: AC 100 V-240 V〜, 50 Hz/60 Hz, 1.5 A
出力電流: DC 23 V ⎓ 2500 mA

・JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

付属品

- リモコン(RM-SNXPS1-W) 1
- 電池(CR2025)(リモコンに入っています) 1
- スピーカーコード(1.5m)................... 2
- スピーカーコード(2.5m)................... 1
- AC電源コード 1
- ACアダプター(AA-R2402) 1
- iPod接続ケーブル............................... 1
- iPodスタンド....................................... 1

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書	補修用性能部品の最低保有期間
所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。 保証期間はお買い上げの日より1年間です。	製造打ち切り後6年です。 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
本書は、本書記載内容で、無料修理または本体部の交換を行うことをお約束するものです。
保証対象はハードウエアのみでソフトウエアは含みません。
本製品使用時に利用されるパソコン、ハードウエア、その他関連システムなどに起因する互換性の問題は保証の範囲に入りません。
この製品を使用したため、または使用できなかったためにいかなる損害が発生しても保証の範囲に入りません。
何らかの理由により、修理または該当製品と同等の製品に交換できない場合、お客様のご希望を確認の上、その後継機種との交換を持ってこれに換える場合があります。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際弊社の判断で再生部品を用いる場合があります。修理に出す前に、メモリ内のデータはお客様にてバックアップをしてください。また、本製品およびパソコンの不具合、誤使用によりデータが破損または消去された場合、データ内容およびそれに伴う一切の補償はできません。
   商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
   (1) 本書のご提示がない場合。
   (2) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
   (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
   (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
   (6) 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
   (7) 一般家庭用以外(例えば業務用等への長時間使用および車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
   (8) 消耗品(内蔵充電池など)の消耗。
   (9) 持込み修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
   (10)不注意、許可なしに行なった修正/ 改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウエア、ファームウエアが原因となって損傷が発生した場合。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター(株)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
   保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のビクターサービス窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。

http://www.victor.co.jp/reg/audio/

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
  ③お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話･PHS･FAXなどからのご利用は 電話　(045)450-8950 FAX　(045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

• ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、上をご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理

<table>
<tr><td colspan="3">型名 NX-PS1-W</td><td colspan="2">製造番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td>お名前</td><td colspan="3">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="3">□□□-□□□□　電話（　　）　－</td></tr>
<tr><td colspan="3">お買い上げ年月日
年　月　日</td><td>保証期間</td><td>お買い上げ日から
本体　1年間</td></tr>
<tr><td colspan="5">お買い上げ店　住所・店名・電話</td></tr>
</table>

お客様へのお願い:

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認出来る書類(シールやレシート等)の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にお申し出、ご相談ください。
3. ご転移の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

1006NSMMDWBET